

**ユニセフのつどい 2015 in みやぎ** 5月31日(日) 仙台市福祉プラザ・ふれあいホール 300人参加



桑山紀彦さんの案内による「地球のステージ」と、永遠瑠マリルイズさんと桑山さんの「いのち」をテーマにした対談を開催しました。ロビーでは、「ルワンダの子どもたち」写真展と、「貧しくも明日に向かって生きる国～アグネス・チャン大使が見た“幸せの国” ブータンの素顔と幸せの源」写真展を開催し、多くの方に見ていただきました。「地球のステージ6～久遠の帰還」で登場する国は、ブータン、ルワンダ、パレスチナ、東ティモール、津波に襲われた日本。いずれの国も子どもたちに焦点をあてており、貧しいながらもたくましく前を向いて歩む姿がたくさん語られました。過去の苦難を乗り越えて生きる子どもたちの姿に人間の無限の力を感じます。

対談は30分と、短い時間でした。マリルイズさんは、20年前のルワンダ大虐殺を生き延びて日本に暮らすルワンダ人です。「生と死の物語を語ることはとても辛いけれど『戦争はぜったいダメ』と、経験した私が言っていかなければと思い、全国で講演活動をしています。」NPO 法人ルワンダの教育を考える会の理事長を務め、祖国ルワンダに幼稚園や学校を作る活動をされています。「教育」は生きるためにとても大事であることも再認識させられました。世界中の人びとが平和に暮らせるように、一人ひとりが考える機会となりました。感想は90名の方から寄せられ、「感動した」というのが圧倒的でした。



## 長谷部誠さん、5度目のあさひ幼稚園訪問 6/17(水)



©日本ユニセフ協会/2015/  
tatsuo hirose

インドネシアの民話の絵本  
「まめじかカンチルの冒険」

サッカーや絵本の読み聞かせをして園児たちと楽しい時間を過ごしました。昨年12月、スマトラ沖地震の被災地インドネシアのバンダ・アチェの幼稚園を訪問し、あさひ幼稚園の園児たちが描いた寄せ書きを届けました。バンダ・アチェの幼稚園からのプレゼントを園児代表に手渡しました。園児たちに温かい笑顔で接する長谷部選手は、「シーズン終了後に真っ先に来たいところがここです。子どもたちから元気をもらいました。これからも継続して支援を続けていきます」と話されました。

## 宮城県白石高等学校で演奏会

5月17日(日)、大河原町のえずこホールで、吹奏楽部第6回定期演奏会が開かれました。会場では生徒さんがユニセフの募金活動を行いました。毎年ユニセフへご支援くださっています。今年は「エボラ出血熱」への緊急募金に取り組みました。来場の方々にアピールするため、ユニセフの「エボラ出血熱」に関する写真パネルを会場の入口付近に展示していました。



## あすと長町平和のつどい (主催：八本松・郡山九条の会、みやぎ生協太子堂店こ～ぶ委員会)

みやぎ生協太子堂店集会室を会場に「紛争と貧困の中で生きる子どもたち」と題し、開発途上国の子どもたちの現状やユニセフの活動について五十嵐がお話しさせていただきました。海外で活動する日本人は今まで「憲法九条」で守られてきていました。改めて九条を守ることの大切さが実感されました。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef\_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所：月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 080-5849-6072(五十嵐栄子)